

【事業案内】 キーワード：渋沢栄一、北里柴三郎、津田梅子、新札発行1年前カウントダウン事業、王子ホールディングス、高級ティッシュ・鼻セレブ、渋沢お札メモ帳、渋沢ミュージアム

報道機関各位

2023年3月30日

東京商工会議所

＜新札発行1年前カウントダウン事業＞  
～新札についての知識理解を深めよう～「新札発行 PR パネル展示」を開催  
新一万円札風デザインの「渋沢お札メモ帳」の販売や、  
渋沢翁がパッケージにデザインされた高級ティッシュの配布もスタート

東京商工会議所（小林健会頭）は、4月3日（月）～4月27日（木）まで、「新札発行 PR パネル展示」を東京商工会議所本部ビル1階（東京都千代田区）で開催いたします。

当所では、2024年上半期から流通する紙幣の肖像画に当所初代会頭を務めた渋沢栄一翁（以下、渋沢翁）が採用されたことから、**新札発行1年前カウントダウン事業**を実施しており、同事業の一環として実施するものです。

本展示では、**渋沢翁に加え、渋沢翁と同じく新札の肖像となる北里柴三郎博士、津田梅子先生の功績などをパネル等にてご紹介**いたします。

さらに、新日本銀行券の製造を行う独立行政法人国立印刷局のご協力を得て、デザインや偽造防止技術、ユニバーサルデザインの取組などをご紹介するパネルを展示し、**新しいお札についての知識・理解を深めることができる内容**となっております。

展示会は、新日本銀行券やその肖像となる渋沢翁、津田先生、北里博士についての理解を深めることができるまたとない機会です。一人でも多くの方のご来場をお待ちしております。

【新札発行PRパネル展示について】

- ◆開催日：2023年4月3日（月）～4月27日（木）（日曜、祝日を除く）  
※丸の内二重橋ビルの開館時間に準じる
- ◆会場：東京商工会議所1階多目的スペース（千代田区丸の内3-2-2 丸の内二重橋ビル）
- ◆入場：無料

また当所では、新札発行を記念し、このほど「**渋沢お札メモ帳**」の販売を開始しました。

◆表紙



◆メモ欄



新一万円札風のデザインで、渋沢翁が微笑んでいるイラストが描かれています。もちろんお札の番号は「4238A1（しぶさわえいいち）」です。

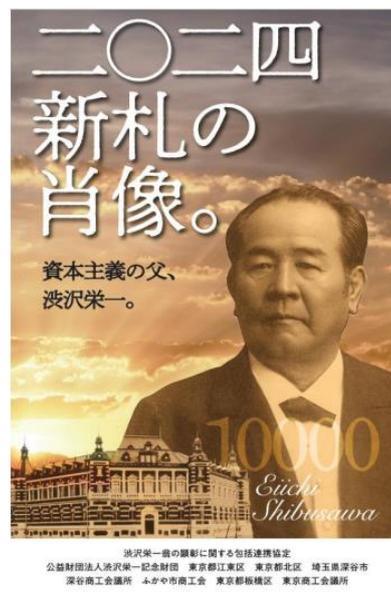
メモ帳は1冊 350円（税込）で、同ビル6階の「東商渋谷ミュージアム」（\*別紙1参照）にて販売します（10個以上のご購入で郵送対応可(送料無料)）。渋沢翁が生涯を通じて取り組まれた社会貢献活動に倣い、1冊の購入につき100円の寄付を行う予定です。

さらに、4月3日（月）より、渋沢翁が設立に係わった王子ホールディングスのご協力を得て、同社ブランドであるnepia ネピアの高級ティッシュ（鼻セレブ）の無料配布を開始します。フィルムパッケージ（縦22cm×横12.5cm×厚さ2cm）の表面には、重厚感のある渋沢翁の肖像と、レンガ建築であった東京商工会議所ビル（二代目）が印刷されています。ティッシュは、3日以降、関係各所へ配布していきます。

◆パッケージ表面

激動の幕末から明治、大正、昭和と近代国家日本の発展の為に奔走した渋沢翁の人生を、夜明けの空と、重厚感のある肖像、歴史ある建物（東京商工会議所二代目ビル 1899(明治32)年～1960(昭和35)年）でドラマティックに表現しました。

同じ図案の新札PRポスターも全国各所で展開しています。



◆パッケージ裏面



【本件に関する問い合わせ先】

東京商工会議所 渋沢記念事業プロジェクトチーム（オフィス環境部内）佐々木・菱川・井上  
 TEL：03-3283-7857 Mail：office@tokyo-cci.or.jp

## 【東商渋沢ミュージアムについて】

東京商工会議所が所蔵している渋沢栄一の直筆書物や銅像、動画などをご覧ください。

日本最初の商工会議所である東京商工会議所が渋沢等により創立された経緯や活動内容、渋沢が関わった 481 の企業（※）の紹介などが展示されており、渋沢や東京商工会議所について知識を深めることができます。また、各地にある渋沢銅像の写真を一覧できる展示が好評です。（常設）

そのほか、渋沢お札メモ帳、ハンドタオル、カトラリー、マスク、箸、コーヒーなど東京商工会議所オリジナルの渋沢グッズも販売しています。（お買い上げいただいた代金の一部を寄付する取り組みもしています。）

（※）東京商工会議所調べ

◆開館時間：平日 10:30～16:30（土日祝休館）

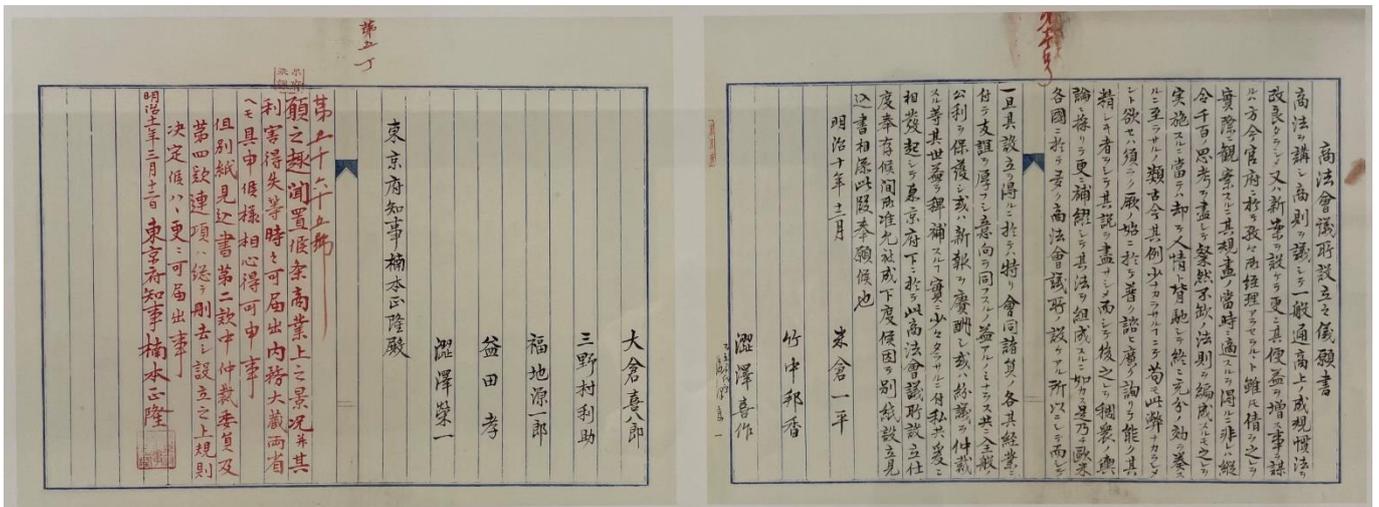
◆場 所：東京商工会議所 6 階（千代田区丸の内 3 - 2 - 2 丸の内二重橋ビル）

◆入 場：無料

（注）一部写真撮影不可のがあります



### ＜展示物の一部を紹介＞

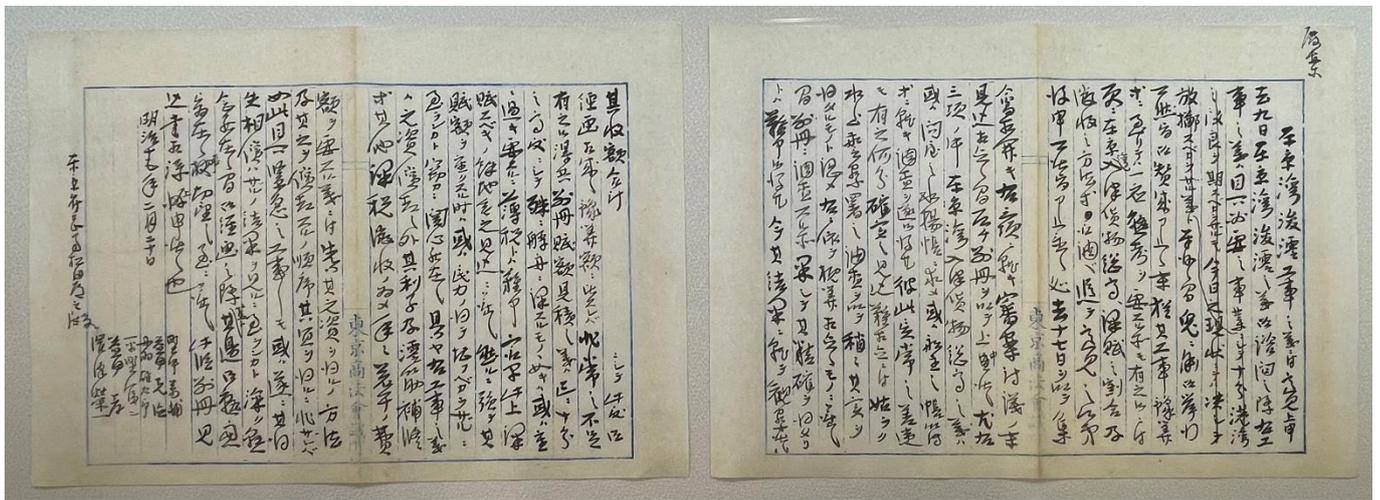


### 1877（明治 10）年 12 月に渋沢栄一らが明治政府に提出した「商法會議所設立之儀願書」（写真）

欧米列強との貿易に関する不平等条約の撤廃を目指していた明治政府は、「（不平等条約は）世論が許さないから」とイギリス公使ハリー・パークスと交渉を行いました。しかし、「日本には世論はあるのか？日本には多数が集まって協議する仕組みがないではないか。個々めいめいの違った申し出は世論ではない」と反ばかれてしまいました。こうして「輿論（よろん）」が必要となり、時の大蔵卿大隈重信は渋沢に相談を持ちかけました。

相談された渋沢は実業界の意見を集約するために商工会議所設立に向けての準備を進め、1877（明治 10）年 12 月に米倉一平、竹中邦香、渋沢喜作、大倉喜八郎、三野村利助、福地源一郎、益田孝、渋沢栄一の連名で「商法會議所設立之儀願書」を提出。そして、翌 78（明治 11）年 3 月に日本で最初の商工会議所である東京商法會議所（現在の東京商工会議所）が誕生しました。初代会頭に就任した渋沢は 38 歳でした。

その後、東京商法會議所は、商工業に関わる様々な報告、議論、調査報告をまとめるなど、まさに「商人の輿論」をつくり、意見の発信を行いました。



「東京湾浚渫（みおさらい）工事に関する東京府知事への意見書」

1882（明治15）年2月22日、渋沢が東京府知事である芳川顯正（よしかわあきまさ）に宛てて書いた東京湾浚渫（みおさらい）工事に関する自筆の意見書（案）。渋沢は、水運物流の改善は貿易振興に不可欠であることを考えていました。

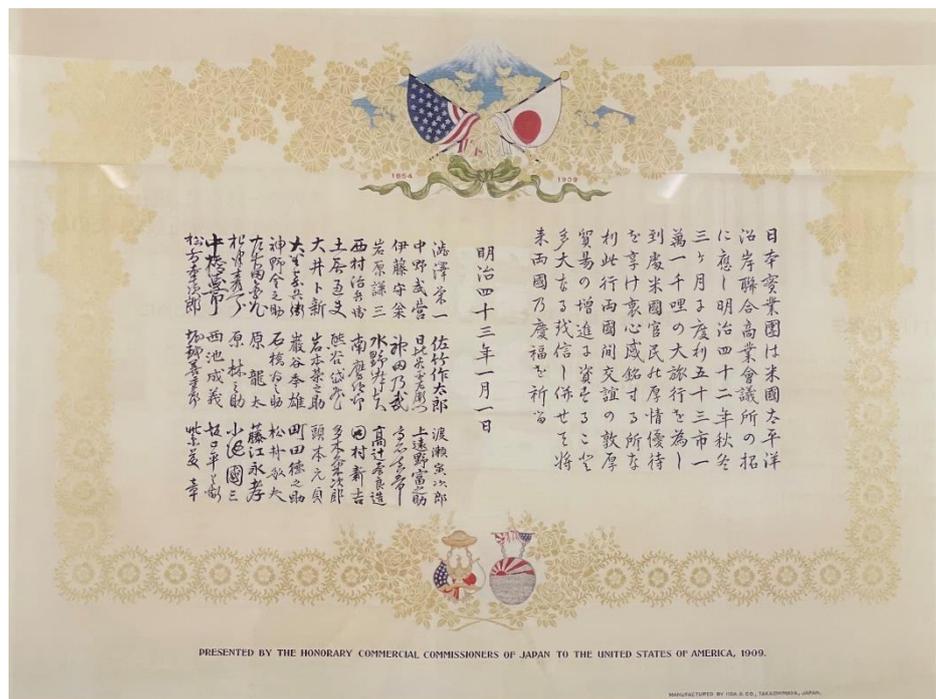
※浚渫工事とは・・・海底の土砂を使用した埋め立て工事のこと

「渡米実業団 西陣織の感謝状（見本）」

（本物は当所役員エリアに展示）

渋沢は1909（明治42）年、渋沢自身を団長とし、東京、大阪など大都市の商工会議所が連携した「渡米実業団」を結成。総勢51名が、日米通商の発展を期すことなどを目的に、3カ月がかりで米国各地を訪問しました。

タフト大統領をはじめとする政府要人との面談のほか、53にもおよぶ主要都市への訪問、数次にわたる演説により、幕末から半世紀を経て、立派に成長を遂げた日本経済界を大きくPRすることに成功。不平等



条約改正への機運を大いに高め、その2年後の1911（明治44）年、ついに幕末に日本が米国と結んだ不平等条約を改正し、「関税自主権」の完全回復を遂げました。

帰国後、渡米実業団関係者は、西陣織の感謝状を製作して、歓待を受けたアメリカ各地の商業会議所、学校、工場などに贈呈しました。

中央の国旗の下には、「1909」と「1854」の2つの数字が記載されています。1909は渡米実業団実施の年であり、1854は、日本の開国の第一歩となった日米和親条約が締結された年です。感謝状右側の感謝文は団長を務めた渋沢が作成し、左に、団員名が記載されています。

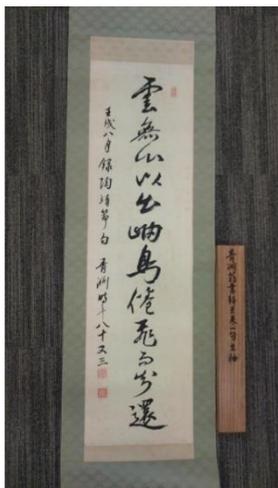
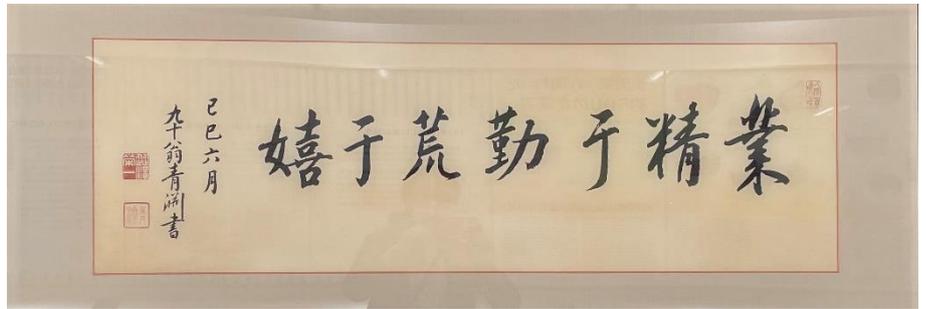
## 扁額「業精干勤荒干嬉」(写真)

(本物は当所役員エリアに展示)

読み：「業(なりわい)は勤(つと)むるに  
精(くわ)しく嬉(たの)しむに荒(すさ)む」

学業(事業)は勤めれば勤めるほど  
精通するが、反対に遊びふけていれ

ばいるほど、荒んでだめになるものだ。中唐の詩人文章家・韓愈(768~824)作「進学解」の中の一文。



## 掛け軸「雲無心以出岫鳥倦飛而知還」

読み：「雲は無心にして以て岫(しゅう)を出で 鳥は飛ぶに倦(う)みて還るを知る」

この掛け軸は、渋沢自身が1922(大正11)年(当時83歳)8月に執筆した書であり、中国魏晉南北朝時代の文学者である陶淵明(とうえんめい)の散文作品である「歸去来(ききよらい)の辞」の一文です。官位を捨てて故郷の田園に帰る心境を書いた陶淵明の代表作であり、六朝散文文学の最高傑作の一つとして後世に影響を与えたものと言われています。

この書は、渋沢が自らの人生を振り返り、多くの経済活動や社会活動を全うした達成感・すがすがしさと、晩年は故郷に帰り、自然と戯れ静かに余生を過ごしたいとの思いを馳せる書などの解釈があります。

ミュージアムでは、渋沢の孫である渋沢敬三氏による箱書き・押印がされている掛け軸が収納されていた木箱も展示されている他、この詩に関する渋沢のエピソードなどもご紹介しています。

## (参考) 東京商工会議所1階多目的スペース内にある渋沢栄一像

会頭就任時、渋沢は38歳でした。その当時が一番近い年齢の写真、43歳をモチーフに、等身大(153センチ)で制作しています。



## <ミュージアムで販売している渋沢グッズのご紹介>

東京商工会議所では、「逆境の時こそ、力を尽くす」と関東大震災からの復興に尽力した渋沢の精神を受け継ぎ、オリジナルの渋沢グッズを作成・販売。渋沢が生涯を通じて取り組まれた社会貢献活動に倣い、2020 年度よりその収益金の一部を寄付しています。

(参考：過去の寄付先/寄付額)

【2020 年度】・東京都健康長寿医療センター（前・養育院）/100 万円

・東京都共同募金会/100 万円 ※東京都共同募金会を通じて各児童養護施設へ寄付

【2021 年度】・東京ワクチンチーム（東京都医師会、東京都看護協会、東京都薬剤師会、東京都歯科医師会）/計 100 万円（内訳：  
東京都医師会 40 万円、東京都看護協会：20 万円、東京都薬剤師会 20 万円、東京都歯科医師会 20 万円）

【2022 年度】・一般財団法人 あしなが育英会/100 万円

### ◆渋沢お札メモ帳



**350 円(税込) / 1 冊**

1 冊ご購入につき **100 円の寄付**

### ◆渋沢ピンバッジ



**400 円(税込) / 1 個**

1 個ご購入につき **200 円の寄付**

### ◆渋沢マスク（全 3 色）



藍色  
(あいいろ)

霞色  
(かすみいろ)

鶯色  
(うぐいすいろ)

**600 円(税込) / 1 枚**

1 枚ご購入につき **100 円の寄付**

### ◆渋沢ハンドタオル



**650 円(税込) / 1 枚**

1 枚ご購入につき **50 円の寄付**

### ◆渋沢カトラリーセット



**650 円(税込) / 1 個**

1 個ご購入につき **50 円の寄付**

10 個以上のご購入で郵送対応(送料無料)しております。